

社保協通信

No.125

2021年12月23日

秋田県社会保障推進協議会

秋田市中通6丁目1-56-5

電話 018-835-6354

Fax 018-832-0203



美郷町議会森元議長等に陳情する
西丸副会長、佐竹事務局長2021年11月

2021自治体キャラバン実施 首長要請「子供からの国保税徴収やめて！」 議会陳情「誰もが安心できる介護保険！」

県社保協は、11月9日より25日まで県内25の市町村を直接訪ね、首長には「国保均等割税の全額免除を18歳に拡大要請」、また、議長には「誰もが安心で

きる介護保険への転換を求める」国への意見書提出の陳情」を行いました。

高校生まで均等
割税無料に

高すぎる国保税は少子化対策に逆行しているとして知事会や市長会などからも改善を指摘されていましたが、国はついに来年4月から未就学児を対象に、5割の軽減を実施します（これまでの7割、5割法定軽減に上乗せする）

所得のない赤ちゃんにまで課税する国保の均等割は人頭税であるとして私たちはこれまで全額免除を要望してきましたが、国の減免拡大の機会をとらえて、改めて所得の無い高校生まで全額免除を求めるものです。全国で30を超える自治体で先行実施しています。

**議会陳情は審議中のためその結果や介護事業所アンケート結果の最終まとめは次号に掲載します。

所見書を国に提出する陳情を行いました。全県の介護施設から協力があつた介護補足給付やコロナ影響アンケート結果中間まとめも持参しました。（253ページ関連記事）

「誰もが
安心できる
介護保険制度へ

「全力でかえる」

ブナの枝の冬芽が、凛と寒風に耐えている。ブナは芽吹くと冬芽の鱗片が残雪を赤く染める。冬があり春がある。自然の営みは神秘的で合理的だ。地球誕生から46億年、人類誕生から400万年、産業革命から200数十年。世界平均気温上昇1.5℃以内ICO2排出ゼロのタイムリミットまで10年と予測されている。地球温暖化対策は、国・企業・市民が各々取組む必要がある。市民の提案でフランスは国内航空近距離便を夜行列車に変えるという。私達は全力でぐるりと発想を切り替え未来をかけて生活様式も環境破壊も大量生産大量消費もチエンジ！

(G)

**国保子供の均等割税
高校生まで全額免除を！**

未就学児減免少子化進行で財源 超少額（ゼロ～百数十万円）

少子化乗り越える「本気が試される」

全国30を超える自治体で独自減免を先行実施していること（岩手宮古市、高校生まで全額免除など）していることを示しながら、①協会けんぽなど同一所得で2倍も高い国保税の軽減、②所得

- ①他の医療保険
2倍も高い
②所得なしでも
課税（人頭税）
③少子化対策に
逆行

国民健康保険に加入する世帯の未就学児を対象に国の制度として国保均等割税の軽減が2022年4月より実施されます。これまで実施されている法定軽減（7割、5割、2割）に上乗せする方法で、残りの5割の軽減を拡大するものです。

未就学児まで 税の軽減広げたが

元公務員であつたある町長は「医療をあまり必要とせず、所得もある若い働き盛りの時は協会けんぽや公務員共済に加入、そして退職して所得も少なく医療が必要になつた時に国保に加入というので

国の制度として未就学児まで国保の軽減が拡大されることは一步前進ですが、内容的にまつたく不十分です。必要財源の確保も十分可能と予想され、少なくとも所得のない高校生まで軽減を拡大する

税の減免広げたが

は国保財政が間に合わなくなるのは当然だ。国保事業に欠陥があるとしか思えない。所得課税だけで足りないから均等割、世帯割などをさらに賦課する。子供の均等割り軽減の趣旨もよくわかる。今、私の町では深刻な少子

ことを市町村長に再要請しました。

国保税子供の均等割保険税の軽減に係る
対象人數(人)と市町村の必要財源(円)

No.	保険者名	高校卒業までの全額免除した場合		2020年4月実施の未就学児(数)の軽減に必要な財源	
		必要財源 (市町村額) (円)	未就学児 (人)	財源 (市町村額) (円)	
1	秋田市	2,960	58,376,130	692	1,774,430
7	鹿角市	665	12,322,530	265	663,998
14	小坂町	46	792,400	12	28,700
15	上小阿仁村	14	331,520	0	0
16	藤里町	31	747,840	8	17,220
19	五城目町	73	974,400	17	28,088
20	八郎潟町	38	656,100	7	18,225
21	井川町	39	1,054,500	9	27,750
22	大潟村	347	16,297,400	89	477,750
24	羽後町	188	3,897,600	30	87,150
8	由利本荘市	810	19,835,690	211	690,716
9	湯上市	376	7,357,620	109	292,785
10	大仙市	806	13,276,800	231	454,200
11	北秋田市	254	5,306,000	40	104,300
12	にかほ市	237	8,291,920	58	285,600
3	横手市	919	19,948,140	233	632,273
2	能代市	539	9,139,360	150	347,148
23	美郷町	211	4,878,120	43	133,958
17	三種町	175	4,624,000	38	138,550
18	八峰町	84	2,371,200	18	64,600
	19市町村計	8,837	190,479,270	2,261	6,267,439

介護事業所の新型コロナ及び補足給付(2021年8月)見直しに係る影響調査

オリンピックを経て猛威を振るったデルタ株、第5波が終息すると、次はオミクロン株がアメリカ、イギリス世界で大流行の兆しとなり、日本でも市中感染が大阪で初めて確認されました。10月、昨年に続き、介護施設（特養、老健、ショートステイ）全県の232施設に、新型コロナ及び補足給付見直し（2021年8月）に係る影響調査に取り組みました。60施設から回答がありましたので中間結果を報告します。

60施設から回答
回答があったのは、
60施設で詳細は左表
の通りです。

施設の種類	施設数	%
ショートステイ	21	35
特養	29	48
老健	10	17
不明	0	0
合計	60	100

前年との収益の変化では減収したが17施設で28%、変わらないは28施設47%、また、増収したが7施設で12%、その他不明が8施設で14%でした。

昨年のコロナアンケートでは減収が4割で、通所系介護の6割で減収が大きく影響してましたが、今年は施設のみの調査で約3割の施設で減収という結果でした。

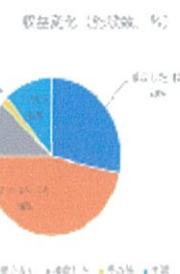
コロナで収益は？

- 業務多忙により退職者が増えている。
- コロナ感染者が出ると職員自身が感染するのではないかと心配する。濃厚接触者となつた場合数日の欠勤となってしまうため、職員への負担が増すことにより精神的、肉体的に疲弊する。

- 長期に渡りプライベートの行動自粛を余儀なくされ、病気を発症するスタッフや気持ちの落ち込みモチベーションの低下が多く見られ退職も多くなった。

す。（右円グラフ）

自由記載欄より 職員や利用者 家族への影響



ショートステイでは540人の利用者のうち、所得が第2段階（住民税非課税世帯、年金所得等80万以下）で食

4割が値上げ

今回は見直しの影響が大きいショートステイについて報告します。特養、老人保健施設については介護部会で分析とまとめ作業中です。

介護施設に入所する低所得者への補足給付要件や食費が8月から見直しされ、大幅に値上げされたためその影響調査を行いました。

低所得の施設利用者（食費・部屋代）見直しの影響調査報告

- 実際感染症が発生した事業所もあり、再発は死活問題という思いで感染対策には神経を使つた。また、自宅に帰つてから

も感染対策も連動しているため、ストレスはかなりのものであった。ご家族は忘れられてしまうのでは？等の心配えないことによつて入居

者さんは訴えることができない心身ストレスがある。ご家族は忘れられてしまうのでは？等の心配が続いている

改定後の利用者総数は77人でしたが8月の二段階で30人（5%）、第三段階で6名（1%）減少しています。第一段階で30人（5%）減っています。一方、補足給付がない

万以上）は13人（2%）増えています。残りの23人の利用者は同じく所得が第3段階（住民税非課税世帯、年金所得等80万以上）で食費が月2万以上値上がりした利用者は9人（16%）で合計では206人（36%）になります。また、値上げ改定前の7月の利用総数は577人でした。が8月の要件が8月からは5百円に引き下げられたため、この要件で補足給付を受けられなくなると最大で年間80万円を超える値上げもあります。

事業者からは「家族から何故こんなに高くなるのかなどの問い合わせが多数ある」などの声が寄せられています。

2021介護・認知症なんでも
電話相談の結果

11月11日（木）の「介護の日」、中央社保協などの呼びかけで「介護認知症なんでも電話相談」が実施されました。全国23都道府県で相談窓口を設けて実施され、秋田県では6件、全国では553件の相談がありました。

「認知症の人と家族の会秋田県支部」の

秋田の電話相談には「認知症の人と家族の会」の石村会長、武石副会長、また、社保協介護部会渡部幸雄部長、事務局から西丸副会長、佐竹事務局長等5名が参加、中通労組会館で、午前10時から16時まで行われました。

相談の内容で国への要望は中央社保協を通じて、また県、市町村等への要望は、県社保協が改善を求めて要請します。

★相談A（仙北市男性） 東京より、帰省して自に戻ることなつたが、就先が見つからない。父がショーステイに入所していたが費用が大幅に上がり退所して通所介護を利用しているアドバイスA

★相談B（横手市女性） 8月から補足給付の見直しがあり、月2万以上引き上げになつた方が大勢いる。制度改善を図るよう引き続き運動を進めていきます。

8月から補足給付の見直しがあり、月2万以上引き上げになつた方が大勢いる。制度改善を図るよう引き続き運動を進めていきます。

電話相談の結果

「ワクチン接種もしているので、面会させてほしい」「普通のことなので入浴させてほしい」と再度つたえてみてください。

★相談C（仙北市）
男性

86歳の母親が脳梗塞治療が完了し、退院することとなつた。秋田市の娘のそ

アドバイスR

アドバイスで
国に改善を強く要求して
いきます。いつしょに頑張
りましょ。

★相談D（秋田市）男性

アドバイスC
病院のケースワーカーなどと相談して、退院先となるリハビリ病院、療養型病院、介護施設など紹介していただきしてください。また秋田市の娘さんが地域包拠に相談に伺うなどしてアドバイスをもらい受け入れ先を相談してみてください。

年の2倍の相談件数となつておあり、あらためて、介

己努力を行つてきなかも
う限界、なんとかして欲
しい、まずは思いを受け
止めてほしいとの悲痛な
叫びが全国各地で出され
ました。コロナ禍以前か
ら度重なる介護サービス
利用抑制・制限の政策が
ある中で、追い打ちをか
けるコロナ禍という事態
の中でさらに一層介護利
用者、家族、介護従事者
が苦しめられている。昨
年の2倍の相談件数となつ
ており、あらためて、介
護現場が認知症介護サー
ビスの充実を求めている
ことがわかりました。



全国の相談の特徴 中央社保協まとめ